

保護者様

平成31年 3月 1日

前橋市立総社小学校  
校長 橋爪 浩子

### 平成30年度 学校評価アンケート結果（児童・保護者）について

12月に児童・保護者を対象にした学校評価アンケートを実施いたしました。集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。お忙しいところ、ご協力いただき大変ありがとうございました。結果の報告と説明をいたします。なお、裏面にアンケートの集計結果を載せましたので、ご参考にしてください。

#### 1 学校評価の方法と見方について

##### (1) 児童アンケート

- ・実現度のみでの評価で、「よくできている」・「できている」・「あまりできていない」・「できていない」の4段階と「わからない」を加えて5段階評価で点数化し算出しています。点数は、それぞれ7・5・3・1点と0点とします。本校では、5.0点以下の項目については、最優先課題としています。
- ・今回全項目の実現度は、最高6.4～最低5.1で、5.0以下はありませんでした。平均は、5.7でした。（参考：昨年度5.8）

##### (2) 保護者アンケート

- ・重要度と実現度の回答結果から「ニーズ度」を算出します。
- ・重要度、実現度の評価は、児童と同様の4段階と「わからない」を加えて5段階点数化です。
- ・アンケート結果は、「ニーズ度の高い順」に項目を並べ替えて一覧にしております。
- ・重要度が高く、実現度が低いものほどニーズ度が「高く」なります。
- ・ニーズ度は、【重要度×（8－実現度）】で算出し、「25.0」が基準となります。前橋市では、ニーズ度が「25.0」超の項目は、最重要の課題とされています。
- ・今回全項目のニーズ度は、最高21.1～最低13.5で、25.0以上はありませんでした。平均点は、17.6でした。（参考：昨年度平均17.9）
- ・「わからない」は、最高22.1%～最低2.8%で、全項目の平均は9.3%でした。

#### 2 今後の対策について

本校の前期の保護者アンケートでは、ニーズ度が最も高かったのが「I-6 不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと」の21.1で、25.0以上の特に重要と考えられる課題はありませんでした。その中でも、保護者ニーズ度のやや高かった項目や「わからない」の回答がやや多かった項目から、5項目についての分析や対策を説明いたします。

ご家庭でもお子さんとの関わり方や学校との連携のためにご活用くださるようお願いいたします。

#### 課題1（保護者ニーズ度21.1 わからない21.6%） I-6 不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと

「わからない」が多かったのは、不登校やいじめ対策というと、問題に対する興味関心や考え方に個人差があったり、学校からの取組を具体的にお伝えする機会が少なかったりしたためと考えられます。本校では不登校やいじめは対策は、未然に防ぐことが重要であると捉え、以下のように取り組んでいます。

- ・いじめを把握するためのアンケートを毎月実施し、複数の目で確認し把握した内容をもとに相談にのったり、指導をしたり、家庭へ連絡・相談をしたりしています。
- ・全職員で保護者や地域からの情報収集に努め、相談しやすい体制作りや雰囲気作りに努めています。
- ・少なくとも週に1回は密な情報交換をして、児童の実態や様子について職員間の共有が図られるようにし、担任を中心に、全職員が連携して生徒指導に当たっています。
- ・担任が毎日の出欠席状況を確認し、養護教諭と連携の上、必要に応じて保護者と連絡を取っています。
- ・スクールカウンセラーが児童や保護者の悩みごとの相談にあたり、校内を巡回して授業中の様子を観察したりしています。
- ・必要に応じて他の機関と連携し、保護者相談やケース会議を開いています。

- ・縦割り集団活動(総社タイム)を通して、同学年だけでなく、異学年での温かい人間関係づくりを進めています。
- ・各クラスで「いじめ防止スローガン」や「クラス目標」を話し合い、年間を通して機会あるごとに目標の振り返りを行い、実践に結びつけられるような取り組みをしています。



いじめ防止スローガンの発表



総社タイム

#### 課題2（保護者ニーズ度19.8 わからない12.9%） I-5 障害への理解を深め、学校全体で組織的に取り組むこと

質問文では「障害」という言葉が使われていますが、本校ではこの問題を広く「様々な課題」と捉えています。得意・不得意や学習スタイル、ものとのらえ方のタイプなどの発達に関わる様々な課題に応じて、一人一人の児童が自分の能力を十分に伸ばし、楽しく充実した学校生活を送ることが重要です。そのために以下のように取り組んでいます。

- ・教育支援委員会を開催し、個々の児童の課題や成長の様子を全職員で共有し、支援のあり方を検討し実践しています。また、専門相談員や放課後デイサービスの担当者等の外部の関係機関との連携を図ったり、ケース会議を開催したりしています。
- ・特別支援教育についての職員研修を行い、特別な支援を要する児童への適切な援助・指導法について学び、工夫・改善に努めています。
- ・学習しやすい環境を整える工夫として、黒板まわりの掲示物を少なくし、注意が逸れずに学習に集中しやすくしたり、黒板の字の色判別が苦手な児童に対しては、色覚サポートチョークを使用して文字を見やすくしています。
- ・個に応じた学習内容や個別の目標への配慮として、長い文章をノートに書き写すことが苦手な児童に対しては、黒板の要点に線を引き、負担を軽減する配慮をしています。



特別支援教育職員研修

#### 課題5（保護者ニーズ度19.2 わからない14.5%） II-19 将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること

「キャリア教育」や「進路指導」というと「仕事」に直結すると考えがちですが、本校では、社会に出たときに、集団の中で自分の力を発揮できるための基礎を身につけることや対人関係のスキルを身につけるなどの人格形成を培うことが小学校段階でのキャリア教育ととらえています。「わからない」の回答が、昨年度の17.9%に比べるとやや低くなりましたが、依然としてよくわからないという保護者の方が多くいらっしゃるようです。

キャリア教育は、こどもたちが「将来の社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度、意欲を形成・向上させる」ために必要な教育です。

そのねらいの達成のためには、①「自分たちの生活を豊かにし、向上させることを目標とした活動」、②「秩序ある集団づくりを目標とした活動」、③「他人を思いやり、考えが異なる他者とともに生活することを目標とした活動」に取り組むことが重要です。



中学校と連携した授業



地元企業と連携した授業

本校では、学級活動、児童会活動、委員会活動、学校行事の取り組みなどにおいて、中学校や企業との連携も重視しながら、主体的に物事に取り組む態度の育成や人間関係を円滑に進めるための意識づくりに重点を置いています。

**課題3（保護者ニーズ度18.2 わからない22.1%）**  
**Ⅱ-2 学習の効果を高められるよう、パソコンなどICT機器の活用を進めること**

12月に配布した学校評価アンケートの案内の裏面に、「学校評価アンケート設問項目についての補足説明」として説明いたしましたが、保護者の方が普段目にするのが少ない普通の授業でのことなので、「わからない」が多かったのではないかと考えられます。前述のご案内で、書画カメラ、タブレットパソコンなどのICT機器の説明をさせていただいておりますので、ここではICT機器の活用を進めるための取り組みや、ICT機器を活用した指導の具体例を紹介いたします。

**【タブレットパソコンの活用を図るための取り組み】**

管理・保管するための棚を整備し、担任に割り当てていたタブレットパソコンを、貸し出し式にすることで稼働率が向上しました。



タブレットパソコン用の棚

**【ICT機器を活用した指導例】**



タブレットPC・デジタル教科書の活用



書画カメラを使った児童の発表

**課題4（保護者ニーズ度17.4 わからない17.3%）**  
**Ⅱ-1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業を充実させること**

子どもたちがよりよい人生を切り開いていくために、確かな学力や社会の変化に対応する力を身に付けるために、授業において「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。こうした思いは学校、保護者、社会の共通した願いですが、「主体的・対話的で深い学び」という用語は学校関係者以外にはなじみのない言葉であるために、「わからない」という回答が多かったのではないかと考えます。そこで、「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、本校が取り組んでいることを紹介いたします。

**①主体的な学び…問題に対する課題意識や学習の見通しを持たせるようにしています。**

（例）児童の興味関心を引くような教材の提示をする。  
 児童が自ら学習課題を設定し、学習計画を立てられるようにする。  
 毎時間めあてを確認し、ふりかえりの時間を確保する。

**②対話的な学び…友達との協力・学び合いへの意欲を高めるために、まず自分一人で考えさせることを大切にしています。**

（例）自分が考えた解き方を友達と説明し合う。  
 学習したことを自分の言葉でまとめてから発表させる。

**③深い学び…すでに学んだこと（浅い学び）からスタートすることで、深い学びに結びつけています。**

（例）いきなり答えや解き方を教えるのではなく、話し合いや教え合いを通して答えにたどり着かせる。  
 1つの考えをさらに深めさせるための発問を工夫する。



学級会活動

**保護者アンケートの結果（ニーズ度順）**

番号	質問文	重要度	実現度	ニーズ度	わからない
I 6	不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと	6.6	4.8	21.1	21.6%
I 5	障害への理解を深め、学校全体で組織的に取り組むこと	6.4	4.9	19.8	12.9%
II 6	お子さんが、読書に親しむこと	6.2	4.9	19.2	4.0%
II 10	人権感覚を高め、自他の大切さを認め合える人権教育を進めること	6.4	5.0	19.2	11.6%
II 19	将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること	6.4	5.0	19.2	14.5%
I 7	安全管理や環境衛生管理を充実させ、安全確保に努めること	6.5	5.1	18.9	6.8%
II 12	お子さんが進んであいさつをすること	6.7	5.2	18.8	4.0%
II 11	あたたかな人間関係を築くための体験的な活動を充実させること	6.4	5.1	18.6	10.8%
II 2	学習の効果を高められるよう、パソコンなどICT機器の活用を進めること	5.7	4.8	18.2	22.1%
II 4	基礎的な知識や技能を身に付けられるような学習を充実させること	6.5	5.2	18.2	6.0%
II 17	基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する力を育てること	6.5	5.2	18.2	5.2%
II 9	よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること	6.2	5.1	18.0	9.6%
II 13	自然を愛し、自然を守る心を育む教育を進めること	6.2	5.1	18.0	11.2%
II 15	集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導を充実させること	6.2	5.1	18.0	11.2%
II 21	自分の役割を理解し、最後までやり抜く態度を育てる活動を進めること	6.6	5.3	17.8	10.0%
II 7	学習に図書室を活用すること	5.7	4.9	17.7	10.9%
II 8	コミュニケーションする楽しさを大切に、外国語教育を充実させること(小学校のみ)	6.1	5.1	17.7	8.8%
II 1	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業を充実させること	6.2	5.2	17.4	17.3%
II 3	調べる、試す、つくるなど体験的な学習を重視した授業を充実させること	6.4	5.3	17.3	5.6%
II 5	お子さんが、毎日、家庭で学習するなど、学習習慣を身に付けること	6.4	5.3	17.3	2.8%
II 18	健康な生活のために、バランスよく食べるなど、望ましい食習慣を身に付けること	6.4	5.3	17.3	5.6%
II 20	協力してよりよい学校生活を送れるよう、主体的な学級活動や児童会活動・生徒会活動の取組を充実させること	6.3	5.3	17.0	9.6%
II 16	運動好きな子供を育てるための、体力づくりを進めること	6.0	5.3	16.2	2.8%
I 8	関係諸機関と連携した危機管理体制を充実させ、交通安全教室や避難訓練の実施など安全教育に努めること	6.4	5.5	16.0	4.0%
I 1	学校評価に基づく取組の成果と課題を家庭に知らせ、改善すること	5.8	5.3	15.7	8.8%
II 14	地域の偉人や歴史、または自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動を進めること	5.7	5.3	15.4	12.0%
I 4	家庭、地域との連携を図り、地域行事や交流活動への参加やそれに向けた働きかけをすること	5.4	5.2	15.1	4.4%
I 2	保護者や地域住民が教育活動に参画できるような仕組みづくりを進めること	5.4	5.3	14.6	6.4%
I 3	PTAや地域の組織を生かした教育活動を進めること	5.0	5.3	13.5	9.2%
	平均	6.2	5.2	17.6	9.3%

**児童アンケートの結果（実現度順）**

番号	質問文	実現度	わからない
3	あなたは、交通事故や火事・地しん・不しん者などのきけんから身を守る方法が分かっていますか	6.4	0.6%
14	あなたは、友だちとなかよくしようとしていますか	6.3	1.2%
2	先生は、一人一人をよく見て、声をかけたり、ほめたりして、みんながなかよくできるようにしていますか	6.2	0.6%
23	あなたは、係や当番活動、行事などに、最後までしっかり取り組んでいますか	6.1	1.2%
13	あなたは、自分もまわりの人も大切にしていますか	6.0	2.9%
15	あなたは、進んであいさつをしていますか	5.9	0.6%
18	あなたは、進んで運動に取り組んでいますか	5.9	1.2%
5	じゅ業で、パソコンやプロジェクタなどのICT機器は、学習に役立っていますか	5.8	4.7%
7	あなたは、じゅ業で学習したことがよく分かっていますか	5.8	1.2%
11	あなたは、英語で伝え合う活動に楽しく取り組んでいますか	5.8	0.6%
17	あなたは、よいことわるいことを考え、決まりを守って行動していますか	5.8	1.2%
6	あなたは、じゅ業で、自分で調べたり、たしかめたり、ものづくりをしたりするなどの学習をしていますか	5.7	1.7%
8	あなたは、毎日、家庭で学習に取り組んでいますか	5.7	0.6%
12	あなたは、道徳の授業などで、自分をふり返って考えていますか	5.6	1.2%
19	あなたは、「早ね・早起き・朝ごはん」など、きそく正しい生活を進んでいますか	5.6	1.2%
22	あなたは、よりよい学級をつくるための話し合いに、進んで取り組んでいますか	5.5	1.2%
20	あなたは、すききらいなく食事をしていますか	5.4	1.2%
9	あなたは、進んで本を読んでいますか	5.3	0.0%
16	あなたは、自然を大切に、しょうエネやリサイクルなどを心がけて生活していますか	5.3	4.7%
21	あなたは、自分のしょう来について考えたり、ひつようなことを調べたりしていますか	5.3	4.1%
4	あなたは、学習のめあてをもち、進んで取り組み、考えをつたえ合いながら、学びを深めることができますか	5.2	1.8%
10	あなたは、図書室を学習に役立っていますか	5.2	2.3%
1	あなたは、自分から進んで地いきの行事などにさんかしていますか	5.1	2.9%